

阿見新報

日本共産党
阿見町委員会
永井よしかず
鈴木57-7
887-4544
携帯 090-8502-3590

細田 正幸
上条 1486
889-1474
ご購読を
日本共産党
しんぶん
赤旗
印紙
月3,497円
印刷版
月 823円

安倍政権の反動的な危険性があらわに！

安倍首相が今国会での強行を狙う「戦争立法」。自民、公明両党による法案骨格の合意文書から、自衛隊が米国の戦争に「切れ目なく」参加・支援する危険な本質が浮かび上がっています。

判断する(安倍首相)ことで、米国の先制攻撃でも該当する場面があることを否定していません。まさに、「切れ目のない」対応を可能にする仕組みなのです。

合意文書の特徴の第一は、米国が世界のどこで戦争しても、自衛隊が行って軍事支援を行う仕組みになっています。今までは、自衛隊の海外派兵のたびに特別措置法をつくって対応してきましたが、今度は派兵恒久法をつくって、米国の要請があれば、いつでも派兵できるようにします。また、これまでの「後方支援」の「非戦闘地域」という歯止めを撤廃し、「戦闘地域」での自衛隊の活動を可能にする「戦地派兵」となります。

第二は、「閣議決定」に対応し、政府の裁量次第で米国のどんな戦争にも参加できるようにすることです。政府の裁量とは、「個別的、具体的に政府が総合

3月25日の新聞に、自衛隊が隊員に対して「遺書」を書くように服務指導されたこと、書いてありました。書かされた元隊員は「殉死(戦死)への覚悟を求めたものであることを感じた」と証言しています。自衛隊が出来て60年経ちますが、今まで、「殺さず、殺されもせず」だった日本の自衛隊が、「戦争立法」の強行により、「殺し殺される日本の軍隊」に変わってしまうのです。

30日の予算委員会で安倍首相は自衛隊を「わが軍」と呼びました。彼の頭の中には、米国と肩を並べて戦闘する自衛隊の姿でいっぱいなのでしょう。隊員が書いた遺書



平成二十七年

三月議会報告

三月議会は、平成27年度の町の予算を決める議会です。



今議会に提出された予算は一般会計で154億5900万円、対前年比6.2%増となっています。この一般会計予算と特別会計(水道事業会計を含む)予算142億6160万円の審議のため、この議会の会期中に「予算特別委員会」が3日間開催されました。

議会最終日の19日、私は一般会計からの国保会計や介護会計、水道事業会計などへの繰入金金の増額を求めて、また水道会計では、水道料金の抜本的な見直しを求めて、平成27年度一般会計予算・国保特別会計・介護特別会計・水道事業会計に対して反対討論を行い、反対をしました。

一般質問 永井よしかず議員

《質問事項》

子ども・子育て新制度について

子ども・子育て支援新制度が4月より実施されます。この新制度は待機児童を解消することが目的とされていますが、阿見町ではどのようになりますか。次に保育料の問題です

が、新制度で保育料が変わる児童がいますか。また、保育時間が「保育標準時間」と「保育短時間」に区分されますが、この事で今までの保育料が上がることはありませんか。

《町長答弁》

町の待機児童は3月1日現在83名おります。この4月には私立保育園の定員増、認定こども園への移行などで、入所の枠を確保していますので、施設を限定しなければすべてが入所できます。次に、保育料ですが、国の算定では保育料が変わることとは基本的には無いと考えています。また、保育料の問題でも、区分されることで保育料が上がるといったことはありません。



県・町議会報告会のお知らせ

3月議会の報告会を下記の通り行います。たくさんの方の参加をお待ちしております。今回は山中たい子県議も参加します。

記

日程：4月26日(日曜日)
時間：午後3時30分より
会場：阿見町 中央公民館
2階A学習室

参加費は無料です。

日本共産党 阿見町委員会

質問事項

阿見町の水道料金について

町の水道事業は「安全・安心」な水を供給する事だと思えます。配水管が通っていない家庭も多くあります。町は配水管の整備を優先的にを行い、普及率を向上させると言っていますが、水道料金体系の抜本的な見直しを行う事が普及率を向上させることだと考えます。使っても使わなくても1800円という考え方は変えるべきです。基本料金はなるべく安く、そして使った分だけの料金を支払う事が、町民に納得して水道に加入してもらおう本筋ではないでしょうか。

町長答弁

町の水道普及率は平成25年度末で85.1%、全国平均の97.7%と比べても低い状況です。今後も施設整備計画に基づき配水管整備を推進し、未整備地区の解消による普及率の向上を図っていきます。よって、水道料金体系の見直しは現段階では考えておりません。

水道料金の問題は過去3回一般質問で取り上げましたが、町の姿勢は配水管を多く埋設することにより、水道の普及率を上げる事に固執しています。水道の通っていない地域に埋設整備をすることも良い事ですが、昨年、一昨年の総括では思うように普及率が伸びていない事も現実です。町の水道使用家庭の約

3割が毎月の使用量が10㎡未満です。使っても使わなくても10㎡分が取られる今の料金体系を見直すことが町民のニーズであり、普及率向上にもつながるのではないのでしょうか。

質問事項

住宅リフォーム助成制度について

御承知の通り、昨年6月に「小規模企業振興基本法」が施行されました。中小企業は、地域の経済や雇用を支える重要な位置にあります。

昨年土浦市ではこの事業を実施した結果、予算の17倍の経済波及効果を挙げました。地域経済を活性化させる起爆剤としても、この助成制度はうつつけです。住宅リフォーム助成制度の実施を求めます。



阿見町8つの小学校で入学式

4月7日、町内の小学校で入学式が行われました。全町で428人の新生児が誕生し、各小学校も活気にあふれています。

これからの6年間の小学校生活に胸をふくらませている子供達を見ると、こちらまでもが元気をもらいます。元気にいっぱい遊んで小学校生活を楽しんで下さい。



町長答弁

町ではより多くの中小企業者に支援を行っており、住宅リフォーム助成制度の導入は考えておりません。

この住宅リフォーム助成制度も一般質問で取り上げるのは3回目です。

この制度は、リフォームを地元業者に依頼すればその自治体から助成金が出るもので、全国628の自治体が実施しており、耐震化、バリアフリー化、省エネルギー化などに多く使われています。

今回、地方創生・地域消費喚起の「地域住民生活等緊急支援のための交付金」4千400万円が阿見町に交付されました。阿見町では、これを「プレミアム付き商品券」として使いますが、この交付金が住宅リフォームでも使えることが国会の質問で明らかにされました。このことをもっと早く知っていたら、もっと追究が出来たのに残念です。(もっとしっかり勉強しなければ...)

一期生議員『永井よしかず』の議会見聞録

今回の議会で、またも町長の発言から混乱が起きました。問題の発言は一般質問の初日、海野議員の質問に対しての答弁の中で起きました。この問題では議会運営委員長が問題視し、翌日朝、議長と議会事務局長に相談し、議長が町長のところに行き議会での謝罪を求めました。その時町長は謝罪を拒否したので、議会冒頭全員協議会を開催し対応を協議しました。全員協議会では、あらためて町長に謝罪を求めることを決め、議長・副議長・議会運営委員会委員長の3人で町長のところへ赴き、再度議会での謝罪を求めました。町長はやっとの事謝罪を受け入れ、議会本会議で謝罪を行い、通常通りの議会運営に戻りました。

今回の、議員を侮辱するような町長の発言は決して許されるものではありません。このような発言をすること自体、町長の資質に問題があるのではないのでしょうか。謝罪はしたものの、議会を混乱させた事は重大問題です。

